

B-37 加工布に関する研究(第5報) アクリル酸テトラヒドロフルフリルアクリロニトリルコポリマー
による樹脂加工 四国女大家政 四十名龍徳 ○野田良子

目的 アクリル酸テトラヒドロフルフリルアクリロニトリルコポリマーで綿布、綿テトロン混紡布を樹脂加工して、その効果を検討した。

方法 アクリル酸メチルとテトラヒドロフルフリルアルコールのエステル交換反応により、アクリル酸テトラヒドロフルフリルモノマーを合成し、種々の割合で調合したアクリロニトリルモノマーと常法によりラジカル重合でコポリマーを合成し、このコポリマーで、綿ブロード、テトロン混綿ブロードを加工して、その加工布の引張強伸度、硬さ等を測定した。

結果 [I] コモノマーアクリロニトリルの増大と共に、加工綿ブロード、テトロン混綿ブロード共、引張強伸度、防しわ度、引裂強度、屈曲摩耗強度等は低下し、硬さは増加の傾向にあった。

[II] 熱処理温度が高く、処理時間が長いもの程、引張強度、硬さ、防しわ度は増加の傾向にあった。

[III] 定着樹脂量の異なるもの程、引張強伸度は低下の傾向にあり、防しわ度、硬さ等は増加の傾向にあった。